

海津木苑運営委員会（令和3年度4月期）

会議録

1. 日時： 令和3年4月22日（木）15時00分 開会
2. 場所： 旧古賀市勤労者研修センター 2階研修室

3. 出席委員（13名）

出席委員（13名）

委員長	結城 弘明	副委員長	安武 正一
委員	智原 和子	委員	簗原 弘二
委員	内場 恭子	委員	内平 晃二
委員	清原 秀則	委員	三好 貴一
委員	三好 収	委員	森 里子
委員	横田 昌宏	委員	河北 吉昭
委員	星野 孝一		

4. 欠席委員

清原透委員

5. 傍聴者数（名）

なし

6. 事務局出席職員職氏名

環境課長	智原 英樹	海津木苑長	吉田 義昭
海津木苑係長	国本 勝喜	海津木苑職員	三好 英明

概要

15:00 開会

1. 古賀市あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項及び報告
4. 報告事項
5. その他

- 1) 会議録について（事務局より説明）

- ・ 4月期運営委員会会議録署名

【質疑・意見】 なし

2) 海津木苑運営に関する実施状況について 資料.1

(1) 令和2年度年間処理状況について

【質疑】

委員 : 令和2年度の中で、コロナ禍の影響でステイホームということで在宅勤務、子ども達も学校へ行けなかった関係でし尿処理に影響がなかったのか。また、農集の搬入量が増えているが、つなぎ込みが増えたと思うが処理に影響があったのか聞きたい。

【答弁】

海津木苑長 : コロナ禍の影響で処理に影響はなかった。搬入量については、在宅勤務、学校が休校となったが前年度と比べると変動はなかった。農集汚泥の増加については、上下水道課に接続率等の資料をお願いしている。

【質疑】

副委員長 : 農集汚泥のことだが、小野地区については、開発が進み、住宅が増えてきて、接続も増えてきているが、農集汚泥の増加にも関係があるのか。

【答弁】

海津木苑長 : 小野北部甕水センターへの配管が整備されていれば、農集汚泥が増える。

【質疑】

副委員長 : 農集汚泥の搬入量だけではなく、小野北部甕水センターへの接続件数が分かれば、単年ごとに教えていただきたい。接続件数が分かれば、農集汚泥の搬入量の増加の理由もわかるのではないか。

【答弁】

海津木苑長 : 現在上下水道課に接続率等の資料をお願いしている。資料を整えて報告させていただきます。

(2) 平成28年度～令和2年度処理状況及び維持管理費について 資料2

【質疑】

委員 : 平成28年度～令和2年度処理状況及び維持管理費の説明で電気使用量は変わらないが、電気料金の設定が変わったということで、この金額はいつまでなのか。説明をお願いしたい。

【答弁】

海津木苑長 : 電気料金の変動については、管財課で令和元年12月と令和2年12月に電力会社が変わり電気使用料金が下がっている。現在は九州電力と1年契約を交わしている。

3) 海津木苑臭気測定結果について 資料3

・測定実施日（令和3年2月24日（水）

【質疑・意見】 なし

4) 海津木苑施設等啓発について

【質疑】

委員 : 小学4年生の施設見学がコロナ禍で出来ずに、ゲストティーチャーのみということで、配慮している点はどこなのか。

【答弁】

海津木係長 : ゲストティーチャーでは、海津木苑の説明を行っている。今年度からは、海津木苑処理棟各階にWi-Fiを繋ぎ、オンラインで見学ができるよう準備をしている。6月にはオンラインで見学ができるよう調整をしている。

【答弁】

環境課長 : オンラインでの見学は試行的に行う。オンラインでの見学ができることを小学校に伝えなければならない。予定では6月にはオンライン見学の体制を整えたい。もしよろしければ、運営委員会でもオンライン見学を行い、新しい啓発の形を提案させていただく。

【質疑】

副委員長 : コロナ禍をプラスに考えて、時代に合った啓発の方法を確立できれば、今は小学校が中心だが、区長会を通して、行政区の福祉会やサークル等に知らせることができるのではないかと。運営委員会で啓発の報告があるが、オンラインの形が出来たら、運営委員会で意見を出しながら、いいオンライン見学の形ができたと思う。

【意見】

委員長 : 資料がないことから、イメージがつかないため、資料や説明をもう少し詳しくしていただきたい。次回は、資料等を加えて説明をいただきたい。

5) 令和2年度施設整備実績及び令和3年度施設整備計画について

【質疑】

委員 : 頻度の適時とは、故障したから更新したのか。そして中低濃度臭気排風ブロワは1年毎となっているが、令和5年度中に新施設が建つが整備工事は行われるのか。

【答弁】

海津木苑係長 : 適時というのは、職員が目視点検を行い、異常などがある場合に更新工事等を行っている。中低濃度臭気排風ブロワは、海津木苑にとって心臓部と言っても過言ではない。中低濃度臭気排風ブロワが故障により停止すると海

津木苑施設も停止しなければならない状況になるため、令和5年度中に新施設が供用開始される時までは整備工事は行う予定である。

4. 報告事項

古賀市汚泥再生処理センター海津木苑（仮称）について

【質疑】

委員 : 汚泥再生処理センター建設工事の入札が5月にあり、建設工事の業者が決定し、施設の設計、建設着工となるわけだが、行政区も新施設の協定書や覚書の内容を古賀市と協議している。ほぼ協定書や覚書の内容は固まってきた。協定書や覚書の中に、食品加工団地と調和のとれた外観にしていきたい。また、災害時に緊急避難所としての機能を持つ施設にしていきたいと明記してる。内容については、古賀市も了解していただいている。その辺が設計に織り込まれているのか。どの時点で行政区はわかるのか。

【答弁】

環境課長 : 今後のスケジュールについて、説明させていただく。5月の入札後、6月議会で承認をいただいて、業者と契約となる。その後に設計に入る。設計自体は年末までかかるのではないかと思う。食品加工団地と調和のとれた外観や災害時に緊急避難所としての機能を持つ施設については、建設工事の仕様書に盛り込んでいる。建設工事の業者が決定後に詳細な設計を詰めていく形になる。今までも行政区等と協議を持っていたが、詳細設計など修正がある場合もあるので意見をいただきたい。また、進捗状況も併せてこれからも協議を持たせていただく。

16:00 閉会

以上

この会議録が正確であることを証明するため、会議録署名人として次に署名捺印する。

令和3年 月 日

委員長 印

委員長の指名する
出席委員 印